

平成30年度 学校だより (第2号)

木立見 こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～



平成30年4月25日発行

発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

平成30年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成（3年目）

入学した1年生は、中学校生活に少しずつ慣れ、元気なあいさつが返ってきます。また、進級した2・3年生は、先輩となり、昨年度とは違った成長した姿が見られるようになっていきます。生徒達のすがすがしい挨拶、授業に真剣に取り組んでいるまなざし、元気に部活動に参加する姿から「西中魂」を感じます。お子さんの気になることがありましたら、遠慮せず、担任等にご相談してください。



新入生110名が入学！！

4月10日（火）、秋山PTA会長、三重小学校、山前小学校の校長先生方、桑山後援会長、PTA本部役員さんのご臨席のもと、入学式を行いました。110名の新入生は、中学生としてのやる気と自覚をもって、3年間の中学校生活のスタートを切ることができました。

校長式辞、来賓祝辞のあと、**新入生代表に教科書の授与**を行いました。入学式後の対面式では、1年生が明るく元気に中学校生活ができるように、2・3年生が温かく迎え入れました。一人一人の個性や能力を發揮し、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

校長式辞(抜粹)...『人間が進歩をするためには、まず、第一歩を踏み出すことである。』これは、自動車メーカー「HONDA」の創業者「本田宗一郎」の言葉です。何かをしようとする時、「失敗したらどうしよう」とか、「無駄になるかもしれない」という考えで、「やろうか、やめようか」迷ってしまうことがあります。その時は、失敗を恐れず、ぜひやってみるという方を選んでください。失敗を恐れず、夢や希望に向けて、まず、第一歩を踏み出してください。そして、新しい西中学校での生活を、一步一步、自分の足で歩んで行ってください。

「秋山PTA会長」の来賓祝辞(抜粹)... 初めは、生活環境の変化に戸惑い、うまくいかないことがあったり、不安もあるかもしれませんが。一日も早く先生、先輩たちに慣れ、有意義な学校生活を過ごしてください。また、西中の良さである「あいさつ」は、その頭文字をとって、「あ」明るく、「い」いつでも、「さ」先に、「つ」続いて、です。相手の目を見て、気持ちを込めてあいさつをすれば心の距離もぐっと縮まります。保護者の皆様には、PTA活動を通じて、親同士の交流、生徒とのつながりを深めてください。生徒の健全な育成を目指し、積極的なPTAへの参加をお願いします。



新入生代表の言葉(抜粹)... 僕たちは今、新しい中学校生活への不安と期待で、胸がいっぱいです。授業についていけるのだろうか、先生は厳しいのだろうかと不安に思う一方で、新しい友達に出会えることや、部活動で先輩の皆さんと共に活動できることなど、楽しみにしていることもたくさんあります。これから先生方や先輩の皆さんから学び、一日も早く中学校生活に慣れ、お互いを思いやる心を持ち、一生懸命やり抜いていきます。

在校生代表の歓迎の言葉(抜粋)... 私は三重小出身で、クラスに数人しかいなく不安でしたが、山前小のみんなが声をかけてくれて一瞬で不安が和らいだのを覚えています。西中の先生方は個性が豊かで、楽しく授業が受けられます。部活動の先輩は優しくおもしろいです。やりたい部活動を見つけ、部活動にがんばってください。西中魂をみなさんも受け継ぎ、一緒にがんばりましょう。



新入生代表あいさつ(抜粋)... 中学校の校舎やグラウンドを見て、小学生の気分も一新し、中学生だなあという実感がわいてきました。これからは、いよいよ中学校生活が始まります。中学校では、いろいろな面が小学校と違います。小学校の時と比べ、毎日の勉強の時間を増やし努力したいです。また、先輩から部活動を教えていただき、一歩ずつ頑張っていきたいです。

交通安全講話と自転車点検

4月19日(木)、交通安全講話と自転車点検を行いました。交通安全講話では、鹿島町交番の「渡邊浩之所長様」から、自転車の乗り方や交通ルールを守ることなど、交通安全に対する意識を高めるお話をしていただきました。以下、講話の内容の抜粋です。



○未成年者が加害者になる事故が急増

- ・昨年12月、女子大生がスマートフォンを使いながら自転車に乗っていて、歩行者に追突し、尊い命を奪うことになった。約1億円の慰謝料を払うことになる。
- ・自転車は軽車両扱い。加害者になることが多い。

○自転車安全運転5則を守ること

- ・車道(左側)が原則、歩道は例外
- ・歩道は歩行者が優先で、車道側を徐行
- ・二人乗り、並進をしない
- ・夜間のライト点灯
- ・交差点での一時停止と安全確認

栃木県がんの教育総合支援事業モデル校に委嘱されました!

◇目的... 栃木県がん対策推進計画(3期計画)に基づき、生徒の発達段階に応じて「がん教育」を実施し、がんに関する正しい知識やがん患者に対する正しい理解を深め、命の大切さを再認識することにより、生徒の将来的ながん検診の受診行動を促すとともに、自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

◇モデル校... 足利市立西中学校、栃木県立宇都宮東高等学校

◇留意点... ① がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則を踏まえ、保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて行い、家庭や地域社会と連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるようにする。



② 小児がんにかかったことのある生徒、家族にがん患者がいる生徒、家族をがんで亡くした生徒などを事前に把握し、こうした生徒の把握ができない場合も含め、十分に配慮するようにする。

一人が一校を代表する!!(西中生の素晴らしい姿)

4月19日の交通安全講話での出来事です。講師の方が用意したDVDが思うように映らず、結局、映すことができませんでした。係の先生たち何人かで20分くらい原因を調べている間、西中生は、笑ったり、ざわついたりせず、うまく映るようと祈る気持ちや苦勞して操作している先生方への思いやりの気持ちが伝わってきました。